

科学技術への期待が社会を動かす？！

～ヒト iPS 細胞をめぐる期待の事例から～

2012年3月8日（木） 18:00-20:00

ヒト iPS 細胞ができてから、その樹立者である山中教授は、新聞やテレビにたくさん出てきて、iPS 細胞の可能性や夢について語りました。そして、政策を作る人、新聞を読んだ人、病気の人などたくさんの方が iPS 細胞に期待をして、結果、iPS 細胞研究にたくさんのお金やモノが集中しました。つまり、たった一つの細胞をきっかけに社会が動いたわけですが、なぜそんなことが起きたのでしょうか？

このような iPS 細胞に対する熱狂について、科学技術の社会学の立場から、人々が持つ「期待」の側面に注目して考えてみました。（ゲストより）

ゲスト 鈴木 和歌奈 氏

京都大学大学院 生命科学研究所 修士課程 2 年

京都大学総合人間学部で現代社会学や現代思想を学ぶ。現在の専門分野は、科学技術の社会学・人類学。

会場 京都大学 吉田泉殿

- * 京町家風の建物です。
- * 普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- * 入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 25 名程度

- * 当日参加も可能です！
- * お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 (おなががすく時間なので)

夕ご飯をご持参ください。

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志 加納 圭・水町 衣里 (京都大学)



お申し込みはコチラから → <http://bit.ly/wAOaSI>